



<目次>

県計画各論シリーズ

<特集>

商工観光の振興

- ♣ 工業計画 ..... 8
- ♣ 鉱業計画 ..... 11
- ♣ 商業計画 ..... 13
- ♣ 中小企業計画 ..... 15
- ♣ 観光計画 ..... 32

—モデル工場拝見—

- 1. 資料を基礎に計画経営——熊本市・白屋……14
- 2. 計画的に設備更新——荒尾市・第一製網……29

★提言★ 桜井貴敏・藤井輝彰 ..... 26・27

当面の経済情勢について

木村 芳雄 ..... 30

観光くまもと私見—— 佐田 愚 ..... 34

<第一線の人びと> 計量検定職員 ..... 25

□ 随 想 □

玉井向一郎・三井金蔵・綴 敏子・上田幸法

★グラフィックページ★

- 若者のうたごえ ..... 3
- <特集> 中小企業の近代化へ ..... 17
- 計量の秩序をまもる ..... 24
- 新産業風土記<栗> ..... 37
- 県政ハイライト ..... 38

表紙——御船町にて センターカラー——県営有明航送船(長洲町)

下・みかんの搬出もみんなで共同作業だ



下・農協の研究職員を招いて実地での研究会



下・会員同志の結婚式の日—拍手で祝う会員たち



果樹研究同志会

— 玉名郡河内芳野村 —

「河内みかん」で名高い玉名郡河内芳野村は戦後いち早く復興した。戦時中の人手不足で伝統的な果樹園は荒れるにまかせていたのだ。昭和二年、全国的に発足した果樹研究同志会の活動は、果樹振興の強力な要として今日に至っている。

この村には現在、河内地区と芳野地区の二つのグループがあり二〇〇名の同志が果樹研究に取り組んでいる。「オヤジたちが戦後復旧してくれたみかん園に、若い僕たちの、新しい技術と力でさらに素晴らしみかん園を造成するんです」と張り切る会員たちは、月一回の技術研究会のほかに共同防除作業、静岡、愛媛などの先進地視察や会員の留学（ことしは一〇名）を行なっている。又、流通機構の実地研修として東京、大阪方面の市場見学も年一回は実行しているという。そしてその都度考えさせられることは、かつての日本一の「河内みかん」のレットルにまん着してはいられないということ。

いまこのグループでは研究園と母樹園を持ち、ツギ木、摘果、土壌分析などに余念がない。近代的な果樹園管理と品質改善が最大のネライなのである。ともかくもこれからの中心機動力が期待されている。